

・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の _____ 、
乗法の _____ が成り立つ。
$$\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$$

③ 同じ数をいくつかかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。

⑤ 整数の集合は自然数と _____ と負の整数をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。

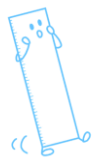
⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。

⑧ 0より大きい数を _____ といい、正の符号「 _____ 」を
使って表すことがある。

⑨ 正の整数のことを _____ ともいう。

⑩ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。
$$\bigcirc + \Delta = \Delta + \bigcirc$$
$$(\bigcirc + \Delta) + \square = \Delta + (\bigcirc + \square)$$





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則 、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\begin{aligned} & \text{乗法の } \underline{\text{結合法則}} \quad (\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square) \\ & \text{乗法の } \underline{\text{交換法則}} \quad \bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc \end{aligned}$$

③ 同じ数をいくつかかけるとき、 2^3 のように表すことがある。

かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。

⑤ 整数の集合は自然数と 0 と負の整数をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。

⑧ 0より大きい数を 正の数 といい、正の符号「+」を
使って表すことがある。

⑨ 正の整数のことを 自然数 ともいう。

⑩ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則 、
加法の 結合法則 が成り立つ。
$$\begin{aligned} & \text{加法の } \underline{\text{結合法則}} \quad (\bigcirc + \Delta) + \square = \Delta + (\bigcirc + \square) \\ & \text{加法の } \underline{\text{交換法則}} \quad \bigcirc + \Delta = \Delta + \bigcirc \end{aligned}$$

